

バスラ日誌 (3月16日)

- 1 本日昼頃、[] から、タリルに異状なく到着したと連絡があった。彼には早速タリルにおける任務を遂行してもらうことにした。追送品等の輸送経路を開拓すべく、[] に色々調べてもらったところ、タリルのBFPO（英軍郵便局）からバスラ基地への輸送は可能らしいということがわかったので、[] にその郵便局を探してもらうことにしたわけである。約10日間の休暇明けのリハビリには丁度良い任務付与であったと思う。結果は、別途関係方面に報告することにするが、我々にとって期待の輸送経路が確保できそうである。 []
- 2 昨日、任務を終えて帰国するチェコ軍警察のお二人の送別会に呼ばれたので、30分だけ参加してお別れを告げてきた。彼らは、先日紹介したが、イラク警察の教育・訓練に携わるJ7のSSR部門に所属しており、色々おもしろい話を教えてくれていた。せっかくお近づきになれたのに残念であるが、本当に小さな「スモール・プレゼント」を渡してお別れした。
2100には司令部に戻って勤務交代する予定であったが、少し遅れて司令部営門付近を歩いていた時久しぶりにボンという発射音とビューという飛翔音を聞いた。これはやや近いと思ったが、最近よく迫撃砲の照明弾を打ち上げて警戒しているので、もしかしたら友軍の射撃かもしれない、余り大袈裟に対応するのも日本国自衛官として恥ずかしいから、悠々と営門に向かって歩いていた。（内心、伏せようかなとも思った。）暫くして、警報サイレンが鳴り、営門の警衛隊員から鉄帽装着を促されてしまったが、ノーチェックで中に入れてもらえた。いつもは、IDをしつこく確認するのだが。
後刻確認された報告書によると、発射地点と弾着地点を結ぶ線は、頭上やや西側地点を通過していた。飛翔音を確認したのは2月11日に初めてIDFに遭遇した時以来である。なかなか聞くことができるものでもないと思うが、本当にロケット花火に点火したときのようなビューという音である。弾着は3発、いずれも滑走路北西側付近に着弾していた。負傷者なし。累計20発目。 []
- 3 本日、快晴。バスラ4名、極めて健康。 []

35



スミッティLO日々業務報告(3月16日)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし [] Threat Level []
2 特記事項	特になし
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワ市の治安情勢、アルバイーン情報、デモ情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 J3関連、明日以降の豪軍支援要請関連、射撃訓練関連(18日 RANGE3)、[] サマーワ訪問 関連 (3) 各種ミーティング等 英・豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 RANGE1~4: 英軍(ヘリからの小火器射撃) 0915~1015

36